

編
集
後
記

●雑誌のバックナンバーをばらばらめくっていた時、ある疾患の非典型的な皮疹についての論文が目とまり一読しました。その数時間後、何とまさに同じような症状を呈する患者さんが受診したのです！偶然なのか、必然なのか……ゾクッとしました。夏に向けての節電対策の1つにLED電球がありますが、この実用化によりどれだけ助かったことでしょうか。甚大な震災の発生前にこの技術が出現し進歩していたのは偶然なのか、必然なのか……今まで人類は様々な困難と闘いながら文明を淘汰・発展させてきました。自然や歴史を動かしている人間の英知を越えた大きな法則が存在するように思えてなりません。(河原由恵)

●昨年医会の副幹事長になってしまいました。編集委員長は才媛の河原先生に引き継いだので編集の仕事はしなくていいと思ったら、副委員長だったようでこうして編集後記に名を連ねております。さて幹事長と副幹事長では仕事量は雲泥の差で、鎌田先生の仕事量の多さそして処理能力の高さには脱帽です。そのおかげで医会活動が円滑に回っていることをひしひしと実感しています。それにひきかえ自分はというと、趣味の話に書かせていただいたようにオフの日は釣り三昧の生活をしています、ごめんなさい。でもできれば水曜日には会議を入れないようにお願いします。(川口博史)

●一見、皮膚と関係のない画家について紹介します。ルネ・マグリットはベルギーの画家でシュルレアリスムの代名詞的存在です。彼の作品は不可思議で、先端が人間の足で構成される茶色の革靴を描いています。この「赤いモデル」は私に足白癬を連想させ、皮膚所見から診断を導く臨床的思考のように映ります。彼は自らの絵画を「目に見える思考」と表現し「われわれが突き当たるものはすべて、その原因がわれわれの理解力の外にある作用である」といっています。絵画にたいする探求心の現れであり、私に皮膚科医として学び続ける必要性を感じさせる言葉です。神皮の先生方もぜひ美術館へ足を運んでみてください。(田宮紫穂)

●家族の希望で犬を飼い始めました。黒のトイプードルです。私は子供の頃に犬を飼っていて世話が大変なことを知っていたので「飼ってもいいけど俺は面倒をみないよ」という条件を付けました。それから数ヶ月たった今ではご飯の準備、トイレの後始末をして、夜は一緒に寝ています。犬は可愛いです。(山本 修)

●このところクリニックにみずいほをとりにくるお子さんが立て続けに来院されます。ずっと様子を見ていたのですが……とのことで、数え切れないくらいたくさんみずいほがある子が何人も……。さすがにこれだけ目立つとこの時期保育園や幼稚園でとってくるよういわれるのは当然かな。なるべく麻酔のテープをはって出直してきてください……とお願ひしますがそれでも時にはかなりの修羅場に。本人のみならず親もNsも汗まみれ血まみれ……。こんなに大変なのに、先日あるお母さんが「前はふつうのおとなの皮膚科に行っちゃって……」とおっしゃいました。うちもふつうの皮膚科です……!! (笑) (高橋さなみ)

●ケアマネさんからの往診依頼に対して、時々、説教をすることがあります。ヘルパーが褥瘡ができたと言っているのを診てほしいとのこと。ちょっと待て、まず、自分で患者さんの所に行き、観察して、それで必要だと判断してから、再度依頼しなさいと、応じます。今の政府も一緒ですね。いつやめる、次は誰より、もっと被災地に入ってほしいものです。(浅井俊弥)

●震災後、現地の悲惨な映像をテレビで連日見続け、気も沈み。計画停電に振り回され、節電で暗く活気の無くなった町に外出する気もなくなり、ほとんど職場と家を往復するだけの生活の状態になってしまいました。この編集後記もすっかり失念し、締め切り過ぎの督促を受けてから、書いている始末です。(小野秀貴)

●編集後記に何を書こうか。やはりこの話題になってしまうのかな……。未曾有、想定外は聞き飽きた、嫌いな言葉になっちゃった。政治家どももあカーンね。足柄茶もいカーンくなっちゃった。(サーベイメーターほしいねひとつ) 誰もかれもがうカーン顔しています。でもでもね、皮膚科学会総会は流れちゃったけど、臨床皮膚科医会総会はええカーンじで盛り上がってました。良かったね！(あ、締め切り過ぎてるのばれました) 神皮今号へもたくさんのご寄稿を賜りましておお、カーン激！ これからまた、少しずつ「よかったね」を増やしていこうね、みんな！ (大林寛人)

■表紙のことは

「夢は豪華客船に乗って……」

写真はサファイア・プリンセス(116,000トン)
パミュータ船籍 英国プリンセスクルーズ社所有 三菱重工業長崎造船所建造。

映画「タイタニック」を観て客船に興味を持つようになりました。4隻ある日本船のうち2隻の試乗会に行きましたが、本物の航海は経済的にも日程的にも不可能です。しばし写真を撮って楽しむことにしました。2006年9月28日(木)午前7時、出勤途中、横浜港大棧橋に寄り道して撮影しました。真っ青な空と紺碧の海に白い船体が浮き立っていました。(山田裕道)

神 皮 〈第18号〉

2011年7月3日発行

発行 神奈川県皮膚科医会

発行人 栗原誠一

〒254-0043 平塚市紅谷町14-24

電話 0463-21-3031

制作 かまくら春秋社